

# -古河公方公園- 公園だより



2022年5月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社  
古河公方公園(古河総合公園)  
茨城県古河市鴻巣399-1  
電話0280-47-1129

## ■春の植物観察会

4/9



■4/9(土)、春の植物観察会を実施しました。講師はもりもりクラブの川田いつ子先生。園内を散策しながら、春の野草などについて興味深い話をいただきました。野原の野草を探したり、「ツピーッ、ツツピーッ」と鳴くシジュウカラの声に耳を傾けたりなど、参加したみなさんも充実した時間を過ごせたのではないのでしょうか。次回、夏の植物観察会は7/9(土)です。

## ■特定外来生物アレチウリについて



■アレチウリは国の特定外来生物に指定されている植物で、駆除の対象になっている植物です。繁殖力が強い大型のつる植物で、ほかの植物の上に覆いかぶさるように成長します。5~6月のまだ小さいうちならば、簡単に根ごと引き抜くことができます。夏から秋にかけて結実するので、種になる前に駆除することが重要です。

## ■特定外来生物クビアカツヤカミキリについて



■「クビアカツヤカミキリ(別名クロジャコウカミキリ)」は、花桃や桜などのバラ科の樹木に寄生する特定外来生物に指定されている昆虫で、ユーラシア大陸東部に広く分布しています。カミキリムシの中でも特に繁殖力が強く、成虫になったメスは、何百個もの卵をソメイヨシノやハナモモなどのバラ科の植物に産みつけます。卵からかえった幼虫が樹木に寄生すると、木の中を食い荒らし、木を衰弱させ枯らしてしまうのです。この公園でも、2019年に始めて発見され、ここ数年で何本ものハナモモが被害にあいました。幼虫が寄生している合図となるのが幼虫の出す「フラス」と呼ばれる排出物です。このフラスはひき肉のように細長くうねうねした形状をしています。古河公方公園では、その元をたどることで、幼虫を捕殺し確実に駆除しています。写真のようなフラスを見つけた場合は管理棟までぜひご連絡をおねがいいたします。TEL:0280-47-1129



## ●新型コロナウイルス関連のお願い●

- ・手洗い、咳(くしゃみ)エチケット(飛沫拡散防止)の徹底。
- ・3密(密閉、密集、密接)を避け、感染リスクが高まる「5つの場面」を回避する行動の徹底。
- ・制限が解除されましたが、ワクチン接種後もあらゆる場面でのマスクの着用にご協力ください。

## □古河公方公園づくり円卓会議

■4/25(木)、古河公方公園づくり円卓会議の委嘱状交付式が行われ、併せて第82回古河公方公園づくり円卓会議が開催されました。今回は、地盤沈下によって変形した管理棟のスロープについて、車いすやベビーカーでも通行しやすいように改修する案が議決されました。



## □あおぞら教室開催!

■令和4年度前期のあおぞら太極拳教室(4/27)、あおぞらヨガ教室(4/28)がそれぞれスタートしました。広い公園で、のびのびと体を動かし、健康な体を作りましょう!

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索